

全一般愛知地方

＝発行＝
 全労連・全国一般労働組合愛知地方本部＝煤本國治
 住所：名古屋市熱田区沢下町9-3
 労働会館本館405

24春闘 恒例のトヨタ総行動！！

2/12：全国一般から8名参加！

を果たし下請企業に至るまで賃上げを」と訴えました。行動に駆けつけた全労連の

「物価高騰を大幅に上回る賃上げが必要。そのためトヨタの企業が社会的責任を



行動は、早朝のトヨタ本社前と刈谷駅の宣伝行動、11時から名古屋駅前、西柳公園で集会に650名が集結

石川副議長は、「24春闘は追い風が吹き、かつてない期待が集まっている。ストライキを背景にたたかおう」と呼びかけました。約30分の集会後は西柳公園を起点に駅前の高層ビル郡を一周して、「大幅賃上げを勝ちとろう」とシュプレヒコールして市民に訴えました。

(記 執行委員長)

愛知アクリル争議支援共闘会議 中間報告集会

＝2月10日：労働会館＝

私たちは、日本アクリルの一方的な工場閉鎖と全国一般労働組合員の差別的な解雇に反対して会社側と争いを続けてきました。

2023年の名古屋地裁・名古屋高裁の不当な判決を受けて、争いは最高裁へと持ち込まれました。東京都労働委員会の調査も続いています。

今回の中間報告では、東中 全国一般中央執行委員長の基調報告により、地裁や高裁の判決の問題点が整理されて、会社側の不誠実な対応が浮き彫りにされました。日本アクリルの名古屋工場閉鎖と組合員解雇の問題は、世界的な大企業ダウ・ケミカルが、そこで働く従業員の生活や地域に与える影響を無視した身勝手な行動で、受け入れてしまえば私たち労働者全体の価値を下げてしまうものです。集会の最後



には22名の参加者全員で団結ガランパローをして気持ちをひとつにしました。

(記 執行部)

世を約束する」旨の不当労働行為もあつたりし、実際に遭遇しそうなシチュエーションも用意されていました。そんな中、仲間と相談しながら、抗議文を出したり、団体交渉を繰り返しながら、要求の達成を目指しました。最後のまとめでは、中執の皆様より「実際の自分の生活の体験を話す」とい、「スト権確立の書面提出したほうが良かった」「もう少し強く抗議した方が良い」などの助言をいただきました。

夜は初見の方々とお酒を飲みながら職場の状況など話しながら交流を楽しみました。

(記 執行委員K)

自世代委員学習交流会に参加しました。役員の方が会社側となり我々がスーパーマーケットの従業員

自世代委員会に参加して！

という設定で模擬団体交渉を行うという内容でした。私達は、春闘の賃上げ、人員補充、経営状況の開示、書面での回答の要求書に対して、春闘アンケート結果やお客様アンケートをもとに経営者側と闘いました。途中、経営者側から呼び出され、「経営側についてくれるなら君の出

全労連・全国一般労働組合自世代委員会
第16回学習交流会
 ～自ら学び、自ら育つ～
 2024年2月3-4日 千原駅・タロスウェーブ8号

右はニコニコしていますが意地悪？な経営者役をしてみました